

水産庁

プレスリリース

平成20年5月22日
水産庁

2008年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPN II)沿岸域調査(三陸沖鯨類捕獲調査)の終了について

本年度の第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPN II)の沿岸域調査(三陸沖鯨類捕獲調査)が、5月18日(日曜日)に終了しましたので、その成果概要について報告します。

1.調査概要

- (1)調査期間 4月14日(月曜日)～5月18日(日曜日)
- (2)調査実施主体 (財)日本鯨類研究所
- (3)調査海域 宮城県石巻市鮎川を中心とした半径30マイル以内の海域(状況に応じて50マイル以内まで)
- (4)調査船 標本採集船 4隻、餌環境調査船 1隻
- (5)調査団編成 加藤秀弘総括(東京海洋大学教授) 他24名
- (6)捕獲頭数 ミンククジラ 60頭
- (7)主な発見鯨種 ミンククジラ、ザトウクジラ、シャチ等

2.結果概要

- (1)ミンククジラの発見数は94群96頭であった。
- (2)捕獲頭数の組成は、雄23頭、平均体長5.67m(4.07-7.78)、平均体重2.31t(0.77-4.91)、雌37頭、平均体長5.91m(4.13-8.12)、平均体重2.65t(0.86-5.70)であった。
- (3)胃内容物については、捕獲された個体のうち49個体から餌生物が観察された。うち47個体がイカナゴ(メロウド及びコウナゴ)を捕食しており、全体の96%を占めた。また、2003年から開始された5回の調査の中で、今年初めてミンククジラの胃内容物からコウナゴが観察された。
- (4)胃内容物重量は平均30.0kgであった。また、胃内容物重量の最大値は79.8kgで当該個体の体重(2.43t)の3.2%相当であった。

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 捕鯨班・高屋
代表: 03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン: 03-3502-2443
FAX: 03-3591-5824

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁